

TAKAE Press

2017夏

臨時増刊号

The Democratic Party
愛参7区版 号外
民進党 民進プレス編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
メール press@minshin.or.jp
URL https://www.minshin.or.jp

公式ホームページ
http://www.itoutakae.info

発行日 / 2017年7月10日発行
発行所 / 民進党愛知県参議院選挙区第7総支部 参議院議員 伊藤たかえ事務所
[愛知事務所] 〒456-0002 愛知県名古屋市熱田区金山町1-5-3 トワ金山ビル7F TEL 052-683-1101 FAX 052-683-1102
[国会事務所] 〒100-8962 東京都千代田区永田町2丁目1-1 参議院議員会館1008号室 TEL 03-6550-1008 FAX 03-6551-1008

うさぎ事務所 事件簿



証言 1

本番中の6月30日が41歳の誕生日だった候補。選対のみならずサプライズ誕生日会を企画するも、時間調整がうまく行かず、絶対気付かれてはならないと思いきや、本人全く気付いておらず(もしかして、鈍感?)サプライズ大成功!「おめでとー!」はバンザイの日までとおこうということで、みんなで「お誕生日ガンパロー!」と言って祝いました。

証言 2

7月2日、3時間ぶっ通しのスクランブル交差点での10万人握手大作戦、その日の気温は33.8度、スタッフはちょこちょこ休んでたけど、本人は休憩なし。伊藤たかえは一人じゃなくて実は三人いるんじゃない?という都市伝説まで生まれました。



証言 3

候補の次女が肺炎で緊急入院。病院に寝泊まりしながらの選挙活動。体以上に心が辛そうでしたが、日中後援会長からの「育児や介護、仕事の両立がこんなに息苦しくない社会を創ると決めたんだから、最後まで頑張ろう」のメールに励まされたと言っていました。

証言 4

候補者の心と体のタフさが凄い。たった一人でワイヤレスマイク街頭しながら握手をしに行く。20人連続握手拒否されても、それでも走る、走る、走る。街宣カーに乗っていても、赤信号で停まれば車から降りて交差点で手を振る、通行人に握手を求め。そしてまた信号が青に変わる前に走って戻ってくる。そりゃ9キロ痩せますよ。(今はすっかり元の体重に戻ったらしいです)



証言 5

うさぎ事務所にはボランティアの金城学院大学生や女子アナ、候補の同級生や、候補のお姉さんの同級生(通称:とっちねーちゃんズ)が集っていて何だかいい匂いがしました。言葉遣いが美しいとか、差し入れが高そうなドライフルーツや料亭級に美味しい手作り弁当とか、嬉しいもんです。

証言 6

党本部からの応援に、岡田代表、蓮舫代表代行、枝野幹事長、野田前総理、前原衆議院議員、細野衆議院議員、辻本衆議院議員、玉木衆議院議員、直嶋参議院議員など、ここまでの強力な布陣は、まさに事件でした。

証言 7

そこまでする必要があったの?と思いますが、自転車作戦の為に購入した自転車のすべてのパーツがオレンジじゃないと某氏が言い出して、全部を解体、スプレー塗装し直しました。しかしそれが圧巻のクオリティ!



証言 8

5.3キロに及ぶ大桃太郎作戦(名古屋駅~金山駅) 青年局から応援に来た初鹿明博・後藤祐一両衆議院議員に加え、連合の神津里季生会長まで一緒に歩かせてしまいました。そしてこの日は候補41歳の誕生日...なんて誕生日プレゼントだ!

証言 9

岡田代表や大村知事も駆けつけて下さったマイクおさめ。20時前にまさか終わりそう?と思いきや、大塚耕平愛知県連代表による「10万人握手大作戦最後の一人は旦那さんで締めくくろ」という粋な演出!最後は候補が次女を抱き上げて感動のラストでした。



証言 10

候補者の「美容院に行きたい」「病院に行きたい」と聞き間違えて、どこが悪いんだ!とスタッフみんなで大騒ぎ!

参議院議員 伊藤たかえ

「子どもたちの未来をつくらることができる。」
公募サイトにあったこの言葉に導かれ、志を立てるも他はなし。政治経験はもとより、知名度も、時間も、何もなかった私が今、参議院で仕事ができるのは、あの暑い夏を共に走ってくれた仲間たち、そしてあらゆる力を授けて下さった恩人たちがいたからです。
「奇跡」の万歳から丁度1年の今夜、改めて、仲間と、恩人と、51万9,510人の方から頂いた「1票という一瞬の期待」に誓います。
自分が何故志を立てたのか、何を約束してここに送って頂いたのか、決して決して忘れず、早く、強く、優しい働き者になります。
どうか変わらず、私を見張っていて頂ければ幸いです。伏してお願ひ申し上げます。



参議院議員 伊藤たかえ

うさぎ事務所の思い出

メッセージボード

激励に来て下さった方の写真やメッセージを貼っていたボード。現在の金山事務所にも置いてあり、いつもみんなで見ながら思い出話をしています。

入退室記録

畏れ多くもOBの皆さんが事務所に来た際、日付と入退室時間を記して下さいました。こちらも勿論、金山事務所に変わらず置いてあります。

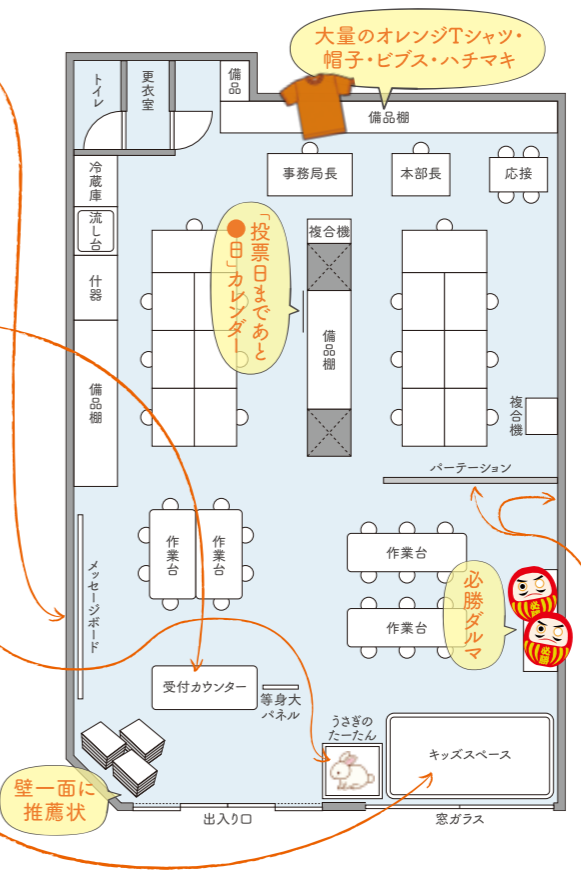
たーたん

お散歩中の近所の保育園のお友達がたーたんさんに会いに来てくれました。

キッズスペース

窓には子どもたちがうさぎの落書き(水で消せるクレヨンです。)

2016年5月14日(土)13:00
伊藤たかえ後援会事務所開所
名古屋市東区東桜の後援会事務所の外壁には、大きなうさぎの写真が、また中では本物のうさぎ(愛称:たーたん)が走り回っていた事から、通称「うさぎ事務所」と言われていました。



私たちがご案内申し上げます!

江原史朗 元事務所スタッフ(経営・街頭チーム) 現第一秘書

川井太司 元事務所スタッフ(秘書・電話作戦チーム) 現第二秘書

何故うさぎ? 候補者本人がうさぎ年であったこと、うさぎのように色々な声に耳をそばだてられる、よく聞こえる大きな耳を持った政治家になりたいという意思、何より志を立てたきっかけが下のお子さんの耳の障害の可能性を指摘されたこと等、本人なりにはうさぎを飼う理由はあったんだと思いますが...事務所スタッフは「選挙事務所は何でうさぎがいるんだ!お前らふざけてんのか!」と怒られることもしばしば。あと、ペットショップと間違えて入って来られる方も後を絶たずよって困りました。

東京から応援に入って下さった先生方には大好評?!

伊藤たかえ事務所公式マスコットキャラクター「うさぎのたーたん」は、リクルートのマーケティング局クリエイティブセンター時代の後援者が描いてくれました。
(作者紹介) 巖まこ イラストレーター、漫画家。1985年生まれ。金沢美術工芸大学卒業後、リクルートマーケティング局勤務を経て2015年よりフリーランスに

はじめまして! うさぎのたーたんです

壁一面に推薦状

キッズスペース

激ピラ

パーティション・壁一面・天井までびっしり埋め尽くされた「激ピラ」の数々。候補者の友人は、まずこれに驚いていました。

Profile

1975年(昭和50年)6月30日 名古屋市生まれ。1998年に金城学院大学文学部卒業後、テレビ大阪に入社、報道記者として事件取材やドキュメンタリー番組制作。2013年株式会社リクルート育休中に金城学院大学非常勤講師兼任。2016年参議院議員選挙にて初当選。「子どもを育てる。仕事をやる。大切な人を介護する。この当たり前の営みの両立が、こんなに息苦しくない社会を創りたい」との公約を日々当事者として噛みしめる4歳と2歳の女の子の母。

参議院議員 伊藤 たかえ

伊藤たかえ事務所
〒456-0002 愛知県名古屋市熱田区金山町1-5-3 トワ金山ビル7F

TEL 052-683-1101
FAX 052-683-1102
E-mail mail@itoutakae.info

@itotakae0630 itotakae
伊藤たかえ 伊藤李恵

伊藤たかえ ホームページ
http://www.itoutakae.info

PM 8:00

当確の瞬間何してた?

江原史朗 中で喜んでいるのが見えたけど「うじゃやない」と思って、誘導棒を振っていた。

川井太司 お祝いの電話が山のように来ると言われて電話の前でスタンパっていたが、全く鳴らなかった。

事務所スタッフ(金城バトン部 先輩) 萩原延子 事務所に駆けつけていました。今までテレビでしか見たことのないバンザイの光景が目の前に!



寄稿文 ありがたいお言葉を頂きました

ありがとうございます!



周囲の空気を一瞬で 変えてしまうオーラと笑顔

日産労連 坂根安則

私と伊藤たかえ議員との出会いは、昨年3月9日の連合愛知の推薦決定より、約1ヶ月前、当時の民主党愛知県連からの一本の電話から始まりました。電話の内容は、「参議院選の出馬に際し移動用の車両を準備したいので紹介頂きたい」との事でした。早速、ご本人とアポを取り、カーライフアドバイザーと同行し犬山のご自宅にお邪魔し1時間程、商談と懇談をした時の事です。第一印象は、初々しい優しいお母さんと言う感じでしたが、公募から出馬への思いを初対面である

のにもかかわらず私に語る本気度は、これまで私が出会った候補者とは、一味違う惹きつけられるものがありました。選挙戦においても、彼女の豊かな感性とバイタリティー、そして何よりも周囲の空気を一瞬で変えてしまうオーラと笑顔は、異性を超えて憧れさえ感じるものがありました。そんな純粋で一途な彼女を有権者は支持したと思います。今後も初心を忘れずに努力して下さい。



疲れ知らずの“全力ねえさん”

U Aゼンセン総合サービス部門 田中俊治

先の第24回参議院議員選挙では、突然の愛知県選挙区での候補者擁立を受け、私は5月からの後援会事務所詰めとなった。同じ友愛連絡会所属産別の強力な仲間も加わり「愛知で2名の当選」を旗印に支援体制を整えるものの、短期間での選挙戦は否めず“こんなんで大丈夫か?”というのが最初の印象。また候補者はお子さんの面倒を見ながらの選挙戦となるため、かなりの犠牲を伴い体力的にも心配な面があったが、疲れ知らずの“全力ねえさん”という姿勢が周りの支援者を考動させる原動力になり、支援労組などボランティアによる献身的な取り組みや、

候補者本人の絶えず走りまわり誰にでも握手をもとめる取り組みに「暑苦しいけど、応援してやろうか!」とのムードとなり、最終的に今回の快挙につながったと思う。最後に支援いただいた労組の方々にあらためてお礼を申し上げるとともに、今後の『たかえねえさん』のご活躍とご家族の安泰を祈念申し上げます。



誰一人欠けても 結果は残せなかった超総力戦

労対派遣 中電労組(当時) 小林和樹

「意志あれば道あり」は第16代アメリカ大統領リンカーンの言葉。それを座右の銘とする当時ごく普通のママさん候補者。「何か大変な選挙になりそうだな…」という私の気持ちを察したかのように「これで勝ったら奇跡だぞ、頑張ってこい」と、選対事務所派遣時に上司からもらった激励。さて、いざ始めれば、時間がない、経験がない、知名度がない、あれがない、これもない…。ただ、日を重ねるにつれ、意志持つ頼もしい仲間が集えば、喜びあり、怒りあり、哀しみあり、

楽しさあり、まるで四字熟語のような忙しい選対事務所と変わっていった。誰一人欠けても結果は残せなかった超総力戦でしたが、候補者の天性の晴れ女ぶりと強い意志にも助けられました。おかげさまで「意志あれば道あり、意志持つ仲間集えば道また開け、大願が成就する」昨年の選挙戦で悟りを開くことができました。これから事務所に派遣される後輩に残したい言葉です。



事務所の仲間同士にうまれた一体感

日産労連 中部・近畿地域本部 部長 村山博

選挙戦を振り返ると、街頭活動や、個人演説会、大須商店街や金山・栄を練り歩いた桃太郎等いろいろな活動が思い出されます。選挙期間中は多くの活動を効率よく行う為に複数のチームを編成して行動していましたが、チームのメンバーは日によって入れ替わったりもしますので最初はどこかよそよそしいところもありました。それが選挙活動するなかで、伊藤たかえさんが右に左に駆け回って街ゆく人々と握手をする姿をみて、この人をしっかり支えようという思いを強くし、事務所の仲間同士も、どんどん一体感がうまれていきました。そうして仲間たちが、

どうしたら人々に思いが通じると考えて活動を企画し、実行部隊が下見や、器材準備などを確実にを行い、現場では酷暑の中で臨機応変、現状に合わせて滞りの無い様に進行する努力を重ねたことで、伊藤さんの思いが人々ととき、広がっていくことに繋がった一助になったのだと思います。新しい事に取り組まれている伊藤さんには、外野からの厳しい声も届くかもしれませんが、我々はいつでも応援しています。初心を忘れることなく『もっと自由な世の中をつくる』ために国政の場で活躍されることを祈念しております。



想像をはるかに超えたストーリー

三菱自工労組岡崎支部(前)支部長 加納孝夫

私が伊藤孝恵さんとはじめてお会いしたのは、3月22日に開催した愛知友愛連絡会幹事会の席でした。誰が、どの組織が彼女を支えるのか、まだ何も決まって無い状況にあり、ご本人にとって、この先、行方を考えれば、大変不安で心細かったことと思います。伊藤さんは、そんな中、素直な気持ちと力強い決意を明瞭に述べられました。政治家を志す思いに満ちた彼女の姿は、私たちをやる気にさせ、その気にさせました。愛知友愛の仲間が全力で彼女を支え、何としても4つ目の議席を勝ち

獲ろう!と、決議しました。これが伊藤孝恵議員物語のプロローグです。そこから51万9,510票という皆の想像をはるかに超えたストーリーを書き上げたのは、組織の力でもなんでもなく、伊藤孝恵自身です。僅か3か月間で、どれだけ多くの人が彼女に魅了されたのか計り知れません。しかし、私は、その中では、一番早く魅了されたと自負しています。伊藤孝恵、磨けば光るダイヤモンドの原石、皆でもっともっと磨きましょう!



うさぎ事務所に 集う人々。



File 01 松永里香 バトン部同級生

事務所内でのボランティアは、毎日部活をしていたあの頃を思い出してワイワイガヤガヤ楽しかったです。みんな神戸や東京から駆けつけて、子連れで桃太郎に参加しました。そして最後はバトンを回して熱烈応援!



金城バトン部の合言葉は「Let's go with a SMILE!!」

File 02 日沖充孝 バイト仲間 & 英子 バトン部後輩

伊藤孝恵が我々夫妻のキュービットなのが運のつき。千種のコマダで後援会長の任を仰せつかり「で、何やるの?」と聞いたら「よく分からん。でも後援会長が毎日来る選挙事務所は勝つらしい」と本人がいうので、とにかく毎日通いました。



決起集会での1枚。この日は僕の41歳の誕生日でした

File 03 田中麻衣 バトン部後輩

たまたま事務所にいたある日、どうい流れか、いつの間にかガンパローコールの練習をしていました。当日は緊張のあまり「ガンパロー!」ではなく「ガンバルゾー!」に。その後もずっとガンパローコールのご指名を頂き、しっかり最終日まで務めさせて頂きました。



孝恵先輩の最年少? 支援者・うちの長男からのお手紙 「たかえせんばいなんでがんばろうてゆうの?」